

信託統治理事会



この両手を上げた女性像は、ヘンリック・スタルケ(デンマーク)がチーク材から彫ったもので、信託統治理事会議場の壁に掛けられています。

国連憲章によれば、信託統治理事会は、国際信託統治制度の下に置かれた信託統治地域(以前の植民地あるいは従属地域)の行政を監督する責任を負わされています。この制度は第2次世界大戦が終わった時に、これら従属地域の住民の向上と、その自治あるいは独立に向けた漸進的發展を促進するために創設されました。

信託統治理事会の創設以来、当初の11の信託統治地域すべてを含む70以上の植民地が、国連の援助を受けて独立を達成しました。その結果、理事会は1994年、その活動の停止を正式に決定し、必要に応じて適宜、会合を開くことになりました。

信託統治理事会議場
デンマーク人のフィン・ユールが設計し、デンマークが国連に提供しました。



人からしてもらいたいように人にしてやるべし。さまざまな国の人々を描いたノーマン・ロックウェル(米国)によるモザイク画には、この言葉が刻まれています。このモザイク画は3階の経済社会理事会議場付近に飾られています。

